

2024 年度
ニチキッズおうしゅう保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025 年 1 月 6 日（月）～1 月 31 日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月19日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ、おもいっきり学ぶ」保育理念に則り、子どもたちが日々楽しめる活動や保育内容を考え、季節を身体で感じられるような保育を実践し、保育に関わるすべての職員が子ども一人一人の思いに寄り添い、健やかな成長を見守り、支えていくことを大切にしながら保育を行った。
子どもの発達援助	子どもの一日を通した生活を視野に入れ、個々の年齢や発達に合わせた関わりや援助、環境設定を行った。子どもが明るく伸び伸びと生活し、自ら体を動かすことを楽しめるように意識した。また、今年度は特に「絵本の世界へ」をテーマにし、製作活動や行事等に取り入れ絵本に興味、関心を高められるように努めた。
保護者に対する支援	日々の子どもの様子や体調、成長の姿など送迎時に個々に伝え、保護者の悩みを聞いたり、成長と一緒に喜び合うことで信頼関係を築けるようにした。また、保育参観や夏まつり会、クリスマス会などの行事を通し、子どもの姿を実際に見てもらい、成長を感じて頂いた。今後も日々のコミュニケーションを大切にし、安心して預けて頂けるようにしていきたい。
保育を支える組織的基盤	職員が共通認識を持つためやスキルアップの為に SIDS 予防、不適切保育などテーマを決め担当がリーダーになり園内研修の取り組みを行った。全職員が意見を出し合い学び合うことが出来た。今後も園内研修を通して学び合い、子どもの主体性を全職員が意識し実践を行っていく。

総評
子どもたちが安全に過ごせるよう保育の環境づくりを積極的に行った。職員間で保育の内容を考え、季節を感じられる遊びを多く取り入れ、子どもたちも楽しんでいる様子が見られた。絵本についても保育計画に取り入れ、保護者へも活動内容をホームページや動画などで伝え共有することでした。次年度、更に一人一人の成長に必要な援助は何かを考え、子どもたちが日々笑顔で「おもいっきり遊べて、おもいっきり学べる」適切な環境を整え、全職員で保育の質を高めていきたい。